

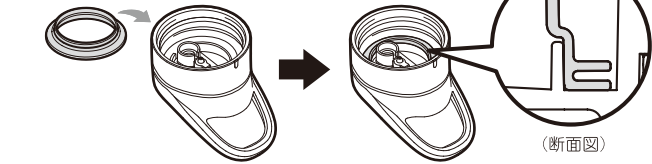
各部品のはずし方・取り付け方

せんパッキン

はずし方
せんパッキンをつかみ、取りはずす。

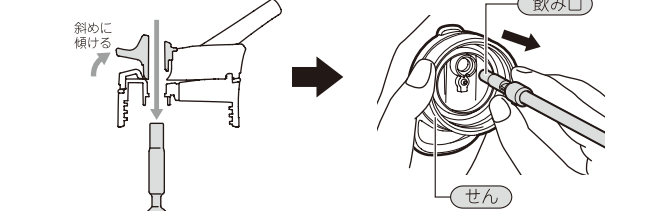


取り付け方
せんにはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



飲み口・ストロー

はずし方
①ストローレバーを図のように斜めに傾け、せんを持って、せんから飲み口を矢印の方向に引き抜く。

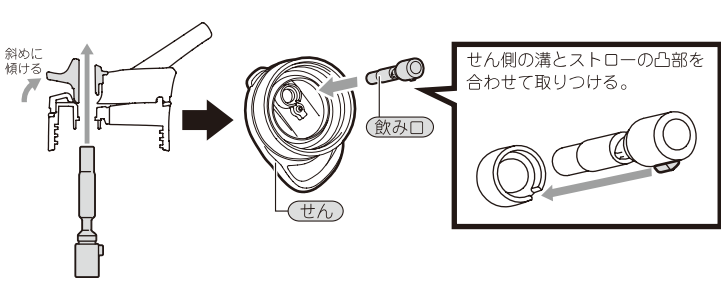


②飲み口とストローの接続部分を持って下へ引っ張り引き抜く。



取り付け方

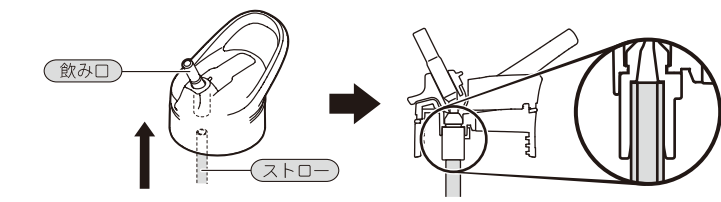
①ストローレバーを図のように斜めに傾け、穴が正円に見える状態に合わせ、飲み口の先端をせんの下から穴に通す。



②せんと飲み口にすきまができないようにパチッと音が出るまで飲み口を引っ張る。



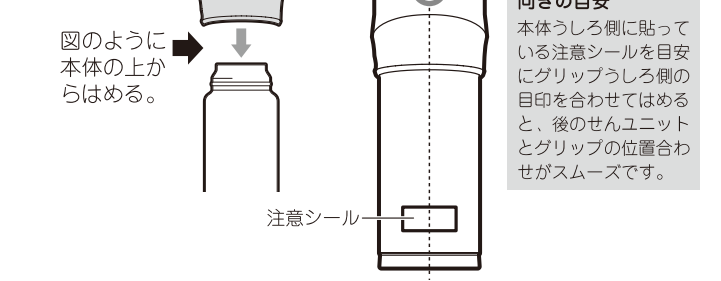
③飲み口にストローを差しこむ。



※正しく取り付けないと、もれの原因になります。

グリップ

取り付け方



※せんユニットを外した状態で、グリップを持って持ち運ばない。グリップが外れ、けがなどのおそれ。

底カバー

はずし方
本体を持って底カバーをはずす。



取り付け方
底カバーを本体のびん底に合わせてしっかりと取り付ける。

※取り付ける時は乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■せん・飲み口からもれる	せんパッキン・飲み口・ストローが正しく、しっかり取り付けられていますか。	せんパッキン・飲み口・ストローの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	せんパッキン・飲み口・ストローが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
	空気穴パッキンがはずれていませんか。	弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんユニットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に冷たい飲みものを入れていませんか。	十分に冷たい飲みものを規定量になるまで入れてください。

※せんユニット・せんパッキン・飲み口・ストローは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
AKX型 せんユニット(せん・せんパッキン・飲み口・ストロー)
AKX型 ストローセット(飲み口・ストロー)
AKX型 せんパッキン
AKX型 グリップ
AKX型 底カバー

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口 ☎0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

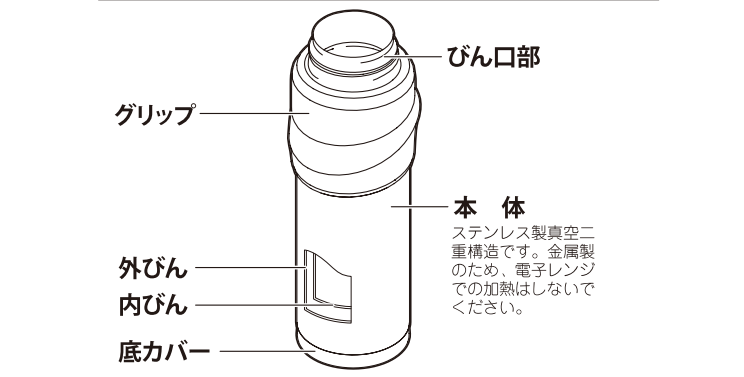
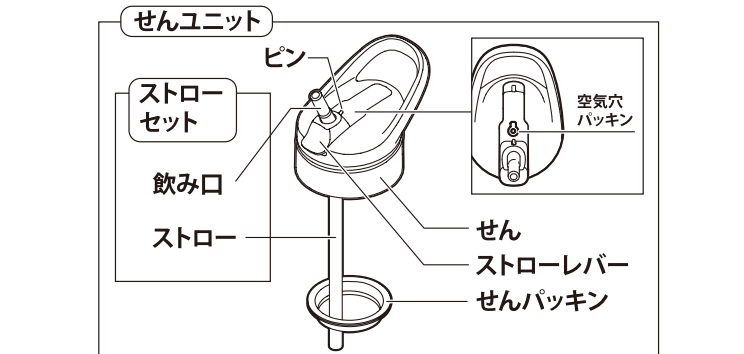
ピーコック魔法瓶工業株式会社
本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock 保冷専用

ゲーミングボトル 取扱説明書 AKX型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。①

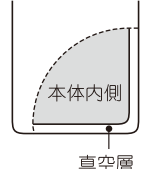
安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保冷以外に使用しない

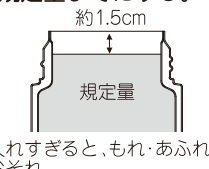
真空層の内部から水が音がる場合は、使用しない。

保冷効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内部にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



飲みものの量は、図の規定量までにする。

約1.5cm



入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。

- 絶対に入れない**
- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、せんユニットがあかなかったり、飲みものがふき出したり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
 - **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの**
サビ・保冷効果の低下の原因。
 - **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出したり、部品が破損してけがなどのおそれ。
 - **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

- **乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。**
やけど・けがなど危険。
- **熱い飲みものは絶対に入れない。** やけどのおそれ。
- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。
- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。
- **倒したり、落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものがもれる原因。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。
- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内部をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。**
はがすと、保冷効果が低下するおそれ。
- **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。
- **せんユニットは確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。** 確実にしめないと、もれるおそれ。
- **せんパッキン・飲み口・ストローは必ずつけた状態で使用する。**
もれ・衣服などを汚す原因。
- **せんユニットを取りつけるときはストロー内に飲みものを残さない。**
本体に飲み物が入っている状態でせんユニットを取りはずすと、ストロー内に飲みものが残ることがある。そのまま取りつけるとふたを開けたときに飲み口から飲みものがふき出て、ものを汚すおそれ。
- **飲み口とストローは必ずはずしてお手入れする。**
ストロー内に残った洗浄液などが使用時に飲み口から出て、ものを汚したり、洗浄液を飲んで体調不良になるおそれ。
- **飲み口を噛み切らない。** 誤飲・窒息の原因。またはもれてものを汚すおそれ。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

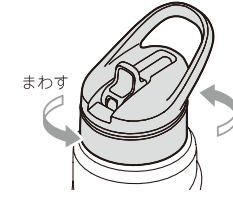
- **自動車運転中は使用しない。**
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。
- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。
- **底カバーを持って逆さにしない。**
- **せんユニットについているストローレバーにものが当たらないようにする。** もれるおそれ。
- **せんユニットを外した状態で、グリップを持って持ち運ばない。**
グリップが外れ、けがなどのおそれ。

ご使用方法

ご使用前にせんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。


1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 冷たい飲みものを入れる

約1.5cm

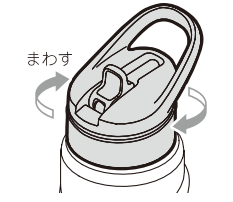


冷たい飲みものを入れ、せんユニットを確実にしめる。
※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものの量は図の規定量までにする。

飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、元どおりせんユニットをしめてください。

3 せんユニットをしめる

せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。
その際、うしろ側にあるせんユニットとグリップそれぞれの目印を図のように合わせる。



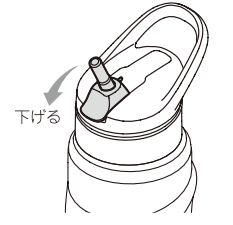
せんユニットをしめる際、ストロー内に飲みものが残っていないことを確認する。
※飲み口の先端から飲みものが出てくる場合がある。



せんユニットうしろ側

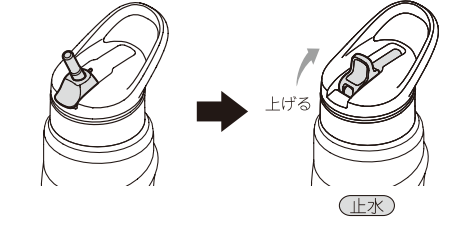
4 飲みものを飲む

ストローレバーを下げ、ストローを立てる。



5 飲み終わったら

飲み終わったら、ストローレバーを上げて止水する。



お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ洗いはしない。

本体内部

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らない様、乾燥させる。※つけ洗いはしない。

せんパッキン

せんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P7.(せんパッキン)の取りつけ方を参考にして、せんに確実に取りつける。
(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

飲み口・ストロー

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をストロー専用のブラシなどにつけてきれいに洗った後、内側を十分に洗い流し、乾燥させる。その後P8.(飲み口・ストロー)の取りつけ方を参考にして、せんに確実に取りつける。※つけ洗いはしない。

グリップ・底カバー

本体から取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らない様、乾燥させてからP9.(グリップ)(底カバー)の取りつけ方を参考にして取りつける。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- **塩素系漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。
- **本体外側は、漂白剤を使用しない。** サビ・塗装はがれのおそれ。
- **本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。** 本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
- **シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。**
傷・サビなど故障の原因。
- **本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。** 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- **本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。**
- **本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。**
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- **長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。